家庭数配付

広報 めいけ

令和５年１月１０日
新潟市立女池小学校
http://www.meike-e.city-niigata.ed.jp/

「おかげさま」感謝の種

校長　田中　修二

あけましておめでとうございます。

今年はうさぎ年です。

卯（うさぎ）は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」。また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。

これから寒さの続く中ですが、寒さに負けずいろんなことに挑戦し、みんなで飛躍していきたいと願っています。

このような寒さですが, 登校してくる子供たちは元気な声で挨拶をしてくれます。中には丁寧に声を掛けてくれます。どんなに寒くても、頑張ろうと思わせてくれる女池の子供たちが、私たち教職員の支えです。

さて、今日は**「おかげさま」**のことを考えてみます。

年末年始、久しぶりに会った人とこんな会話がよく聞かれます。

「ご家族の皆さんはお元気にお過ごしでしたか」

「ええ、**おかげさま**で」

日頃の生活の中で挨拶のように用いられることもあります。

この**「おかげさま」**の意味を考えほしいのです。

「おかげさま」の「陰」には、**「人の目に届かない，隠れたところ」**という意味があります。

私たちが「おかげさま」というときは、**見えないところで支えてくれているすべての人に感謝の思い**が根底にあるのです。

私たちは**「いつも身の回りにあって、当然のように感じている物事」**について、そのありがたさを忘れがちではないでしょうか。蛇口をひねれば水やお湯、スイッチを入れれば灯りがつき、タブレットを見れば勉強や情報がでてくる、それが当たり前、そう思ってしまっていませんか。

よく考えると、**「当たり前」ではない**のです。多くの人が支えてくれて、初めて快適に使うことができます。まさに「おかげさま」なのです。

朝起きてからのことを思い起こしてください。「誰のお世話にもなっていない」とは言えないのです。**私たちは、いつもどこかで、誰かに支えられています**。それを自分の力でやっている、自分がちゃんとしている、と自分だけで考えると**「感謝の種」**に気付くことはできないかもしれません。

特に日々の生活の中で、自分が何かしらの不満を抱いていると、周りに不穏な空気が広がっていきます。しかし、**「おかげさまで、ありがたい」**と思えることが、増えれば増えるほど、自分の心が落ち着いて、喜びを感じることも増えていくはずです。感謝の気持ちを素直に表していたなら、周囲の人たちとの関係もきっと温かさが広がります。これから身近なところから**「感謝の種」**をたくさん見付けてください。

１　今月の生活のめあて

１月の生活のめあて

今月の目標

時間を守って行動しよう

～次の準備をしよう～

○　冬休み明け、子供たちの学習や生活のリズムを整え、時間を守って行動できるようにします。
○　授業終了後、次の学習の準備をしてから休憩に入ると、次の学習がすぐに始められるよさを感じさせたいと思います。
・　各クラスで、めあての達成のため取り組むことを考えて実践します。
・　活動を振り返り、取り組みが持続するようにしていきます。

２　１月の主な予定

日	曜	主な予定	日	曜	主な予定
1	日	令和５年　元日	17	火	委員会
2	月		18	水	文化財センターによる昔学習（3 年）
3	火		19	木	スクールカウンセラー午前　昔学習（3 年）
4	水		20	金	女池っ子祭り（朝～４限）
5	木		21	土	
6	金		22	日	
7	土		23	月	給食週間（～27 日）
8	日		24	火	
9	月	成人の日	25	水	
10	火	全校朝会　授業３時間	26	木	学習参観日 学級懇談会 授業５時間
11	水	給食再開	27	金	
12	木		28	土	
13	金		29	日	
14	土		30	月	
15	日		31	火	
16	月		※上記は, **学校全体の「主な予定」**です。		

３　新潟県から「かぜ症状 注意徹底アラート～症状出たら 家，出るな～」が発出されています

【期間：令和４年 12 月 22 日から令和５年１月 15 日まで】　　新潟市 HP　新型コロナウイルス感染症について　より

年末年始は人の動きが活発化し、感染拡大に繋がるおそれがあることから、社会経済活動を維持しながら、感染拡大を防止し医療ひっ迫を防ぐため、少しでも発熱・鼻水・のどの痛みなどのかぜ症状がある時は、下記について徹底するようお願いします。

○　登校・出勤はしない／させない。
○　本人はもちろん、子どもの発熱など“同居家族が体調不良”の場合も、飲み会やイベントに参加しない。

４　新型コロナウイルス・季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応を

今年の冬は、今年の夏を上回る感染拡大が生じる可能性があるほか、季節性インフルエンザが流行する可能性もあります。引き続き、手洗い・手指消毒・3 密回避、場面に応じたマスクの着用などの基本的感染対策をお願いします。